

府道 美原太子線 栗ヶ池バイパス

事業概要

【事業目的・整備効果】

- 本路線は、堺市美原区を起点とし、富田林市を經由して太子町に至る南河内地域北部を東西に結ぶ幹線道路です。
- 本事業は、近鉄長野線と東西に交差する現道の府道美原太子線等の周辺道路の渋滞対策のため、バイパスを整備し、交差する当該鉄道を高架化することにより、周辺道路の交通分散化、自動車交通の円滑化による道路ネットワークの強化や歩行者等の安全を確保することが目的です。
- バイパス区間の約0.4kmが、令和元年8月7日に供用しました。
- 近鉄長野線高架区間の約0.91kmが、令和5年6月10日に完成しました。

【事業箇所】

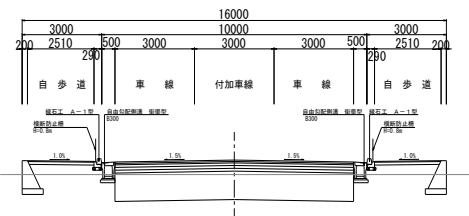
富田林市中野町3丁目～宮町1丁目

【設計概要】

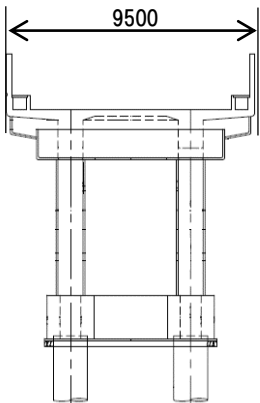
- 〈平面道路整備〉 延長：0.4km 幅員：16.0m（2車線）
- 〈鉄道高架による立体交差〉 高架延長：0.91km 幅員：9.5m

標準横断面図

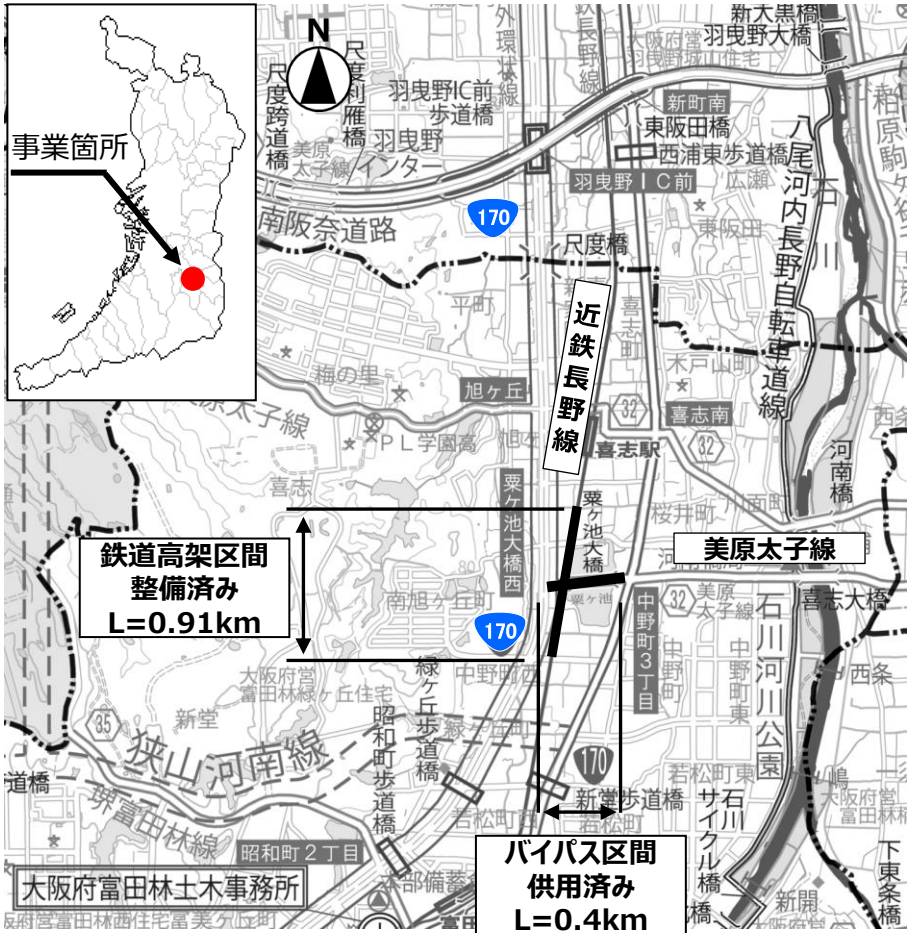
平面道路



鉄道立体交差 [単位：mm]



位置図



その他

【取組状況など】

 [こちらをご覧ください（富田土木事務所ホームページ）](#)

【問い合わせ先】

都市整備部 道路室 道路整備課 建設グループ (06-6944-9276)